

## 企業概要

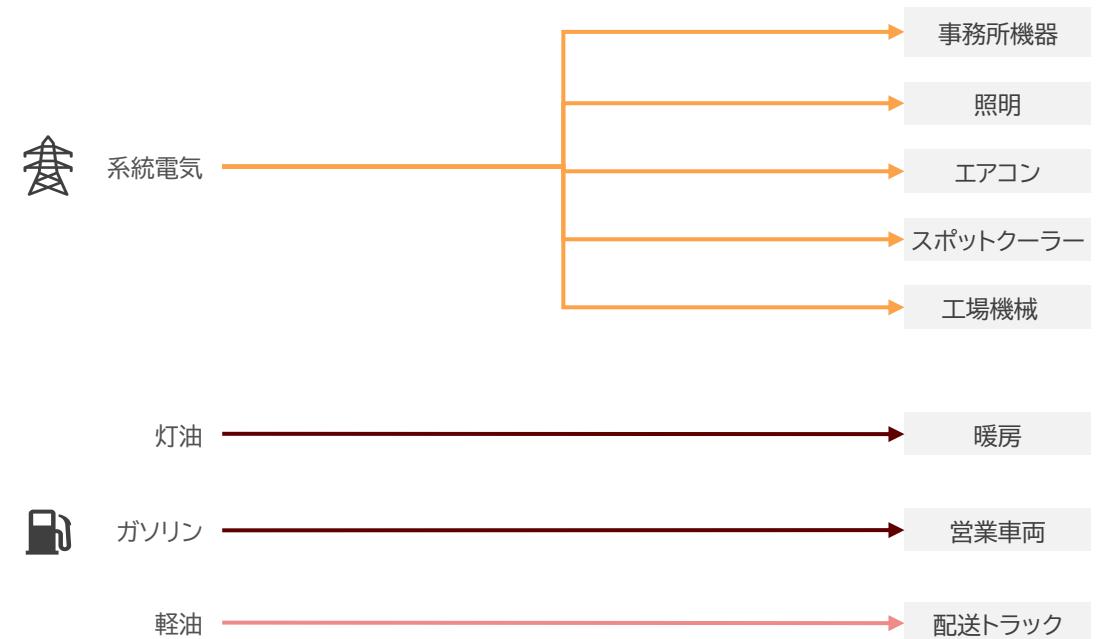
- 本社 佐賀県佐賀市兵庫町大字若宮210-1
- 創業 1948年3月31日
- 資本金 2,000万円
- 代表者 代表取締役 水町 晋康
- 従業員数 29名
- 業種 卸・小売業
- 事業内容
  - ・工業・農業資材の卸小売業
  - ・各種機械の設計・製造
  - ・内装・土木・網構造物工事業他



## エネルギー使用状況の可視化

### ■ エネルギーフロー図

当社では、営業車・配送トラックの稼働が多いため、ガソリン・軽油の消費量が多くなっています。オフィス機器や照明空調、工場機械等で電気を消費しています。電気使用量は比較的少ないですが、中でも空調設備で多くの電力を消費しています。



## 脱炭素経営の背景とスローガン

### ■ 脱炭素経営のきっかけ・背景

きれいな地球を後世へ残したいという思いから、平素より環境経営を推進してきました。省人省力機器の提案を通して、取引先の脱炭素に間接的に貢献しているものの、近年まで自社内において「脱炭素」という枠組みでの知識醸成や具体的な行動には取り組んでいませんでした。



現在は自社の省エネ取組を取引先へ波及させていくためにも、まずは自社の脱炭素経営に積極的に取り組んでいます。

専務取締役 水町 幸浩

### ■ GXスローガン

**人と空、水と大地を大切にしたい  
グリーンソリューションで牽引する**

このスローガンには、省エネ設備の提案などを通してサプライチェーンの脱炭素化をリードしていくという思いを込めています。

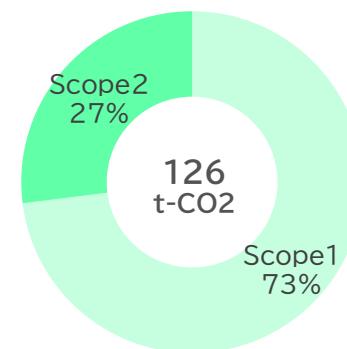
スローガンの策定は社内でのワークショップを通して行い、社員の環境意識向上や自社のGX方針に対する理解度向上の機会となりました。スローガンは社内に展開し、社員全員の環境意識をより向上していきます。



### ■ 自社排出量の内訳

2023年度の自社活動によって排出された温室効果ガス量の合計は126トンでした。これは、杉の木のCO2吸収量/年に換算すると8,946本分になります。

当社のGHG排出量内訳は、自社で使用する燃料由来のCO2排出量(Scope1)が92t-CO2、他社から供給された電気・熱使用由来のCO2排出量(Scope2)が34t-CO2です。



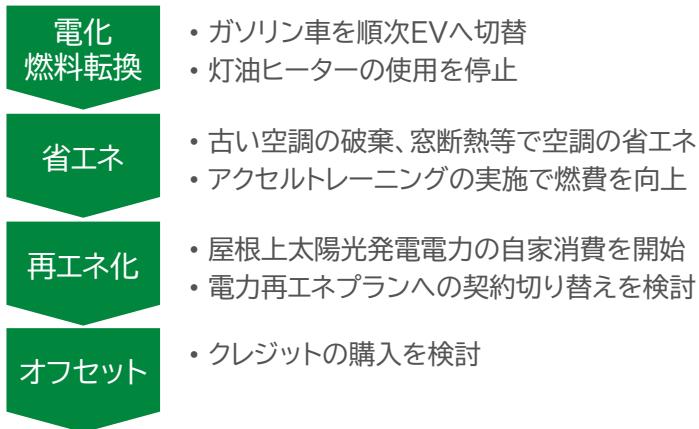
126 t-CO2 = 杉の木 8,946本が 1年間で吸収するCO2量

| 部門     | エネルギー種別 | 年間使用量      | CO2排出量     |
|--------|---------|------------|------------|
| Scope1 | 軽油      | 18.3 kL    | 47.2 t-CO2 |
|        | ガソリン    | 18.7 kL    | 43.5 t-CO2 |
|        | 灯油      | 0.7 kL     | 1.8 t-CO2  |
| Scope2 | 電気      | 70,556 kWh | 34 t-CO2   |
| 合計     |         |            | 126 t-CO2  |

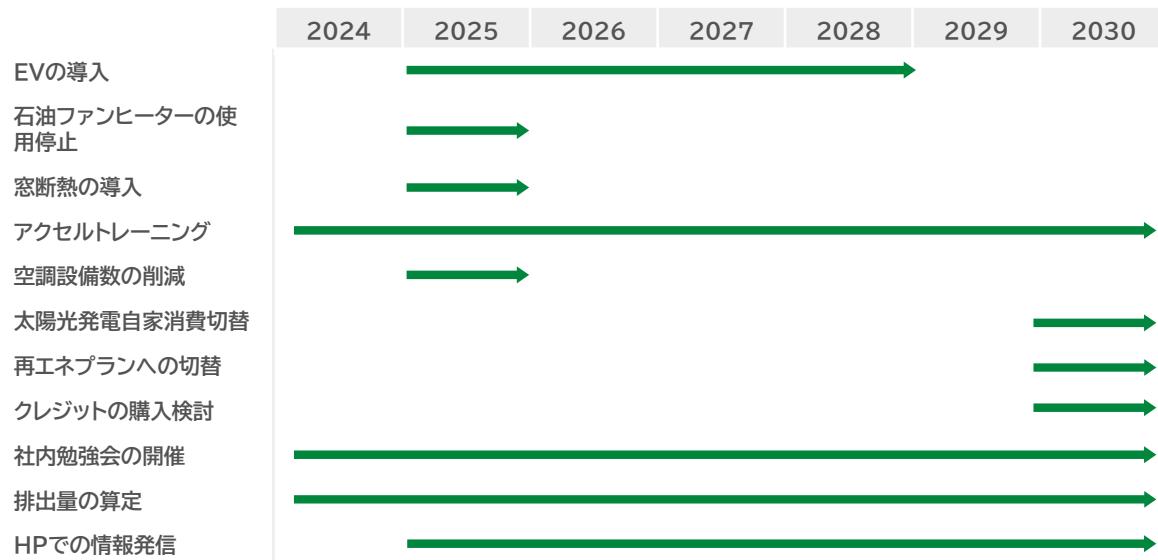
# 自社GHG排出量の削減に向けた取組

## 削減計画の策定

### 削減の流れ



削減目標: 2030年度までに42%削減(2023年度比)



## 実施施策のご紹介

### 断熱パネル施工による倉庫の断熱・保温性の向上エネルギー効率向上

当社で使用する倉庫は、近年では夏場に40℃を超える状況でした。倉庫内に断熱パネルを設置し、二重構造にすることで、職場環境を大きく改善することができました。

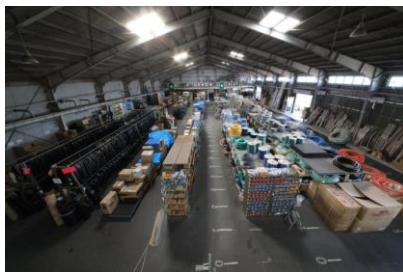
#### 断熱効果

夏場の倉庫内気温  
約**40℃** ▶ **20℃後半**

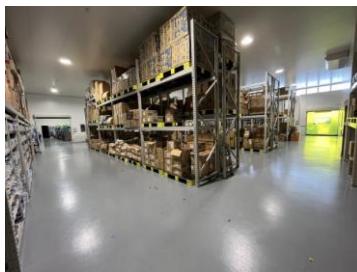
#### 防音効果

気密性が上がり、  
雨の音などを大幅軽減

施工前



施工後



# サプライチェーン全体での取組

## 省人省力機器の提供

取引先の省人・省力化に貢献するため、自社で省人・省力化機器を開発しています。省人・省力は、過剰な作業負担をなくし、より効率的な働き方が可能となり、従業員の移動や待機によるエネルギーロスを削減することで間接的に省エネに繋がる重要な要素です。

コンテナ自動洗浄機



全自動で行うことで無駄な電力消費を抑え、節水効果やエネルギーコスト削減

分配機



商品をラインに自動で均等に供給・分配する装置。必要な動作のみを行うことで無駄な電力消費を抑え、エネルギーコスト削減

## 省エネ取組の提案

取引先の工場などに対して、省エネ設備の提案を行っています。設備の高効率化・運用の最適化をすることで環境負荷低減につながります。

例えば、保温ジャケットの設置により放射熱を抑え、周辺温度の上昇を抑える事で無駄な放熱をなくし、電気量・空調設備の負荷の軽減が可能です。また工場内のゾーニングや断熱パネルの設置により保温効果を向上させることで、冷暖房効率が上がります。

当社は、このような省エネの取組を自社内においても積極的に行っています。

# 中小企業版SBT認証

## 中小企業版SBTを取得しました！

当社は、温室効果ガス削減のための科学的根拠に基づく目標を掲げ、「中小企業版SBT」を取得しました。



### SBTとは？

SBT(Science Based Targets)とは、企業がパリ協定の目標(1.5℃目標)に沿った温室効果ガス削減目標を設定するための国際的な枠組みです。



### ミズマチの目標

|         |           |
|---------|-----------|
| 基準年度    | 2023年度    |
| 目標年度    | 2030年度    |
| 目標削減率   | 42%       |
| 目標年度排出量 | 73.1t-CO2 |

開示目標の達成に向け、削減計画を実行していきます。



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION